

川崎化工株式会社

蓄積したプラスチック成形技術を生かして、バイオマスプラスチック事業を立ち上げ
ユニークなデザインの商品を通じてブランドの認知度を向上

概要

同社は、プラスチックの成形方法であるブロー成形と射出成形の両者の成形設備を有することを強みに様々なプラスチック製品の製造を手掛ける。特にロール式ウェットティッシュ等の衛生用品ボトル容器が主力製品で国内製造でトップクラスのシェアを誇る。



脱プラスチックの流れから、主力製品のウェットティッシュのボトル容器がフィルム包装に置き換わる等の危機感を感じて、自社の新たな取組の必要性に直面。新たな取組として、これまで培ったプラスチック成形技術を生かして、バイオマスプラスチック成形事業に着手。まずは、ロール式ウェットティッシュのボトル容器をバイオマスプラスチックと紙管を用いて、従来品より化石由来プラスチック使用量を99%削減。
更なる事業の展開に向けて、バイオマスプラスチックのブランドを立ち上げて、第1段アイテムとして「うどんヘルメット」を2024年に商品化。



取組ポイント

エコデザイン推進

「うどんヘルメット」は、地域をアピールした讃岐うどんにちなんでデザインされたヘルメット形状のうどん鉢。材質はバイオマスプラスチック（50%配合）とポリプロピレン製の2種類を展開。バイオマスプラスチックには過去のOEM生産で加工実績のあるお米由来の「ライスレジン」を採用し、バイオマスプラスチックの難点である強度問題を独自の成形技術とデザインで克服し、バイオマス原料の割合を最大限に高めることで環境負荷低減に貢献。



外部デザイナーの力も借りて商品開発を行い、24年2月の展示会への出展を契機に百貨店等の大手バイヤーから新規引き合いを獲得。県内の高速サービスエリアや空港、道の駅等への店頭販売も行い、商品コンセプトやユニークなデザイン性から各種メディアにも取り上げられて話題となり自社の認知度が向上。

現在は頭部を保護するヘルメットとして強度不足であるため、非常時にヘルメットとして使用可能な高強度化を視野に検討中。

ブランド認知度アップを契機に、今後の事業戦略に活用する予定。

うどんヘルメット



企業情報

- ・事業内容 バスチック製品の製造・販売
- ・所在地 香川県観音寺市豊浜町和田乙1168-1
- ・電話番号 0875-52-2929
- ・ホームページ <https://kawasakikako.co.jp/>

